

全 宗 協

ZEN SHU KYO

業界待望の「仏事コーディネーター」誕生!!

十一月十六日に東京と大阪で第一回試験 六百二十人が受験、六百十二人が合格

仏壇仏具業界待望の「仏事コーディネーター」がついに誕生した。第一回試験（受講も含む）は十一月十六日（火）、東京と大阪の二会場で行われ、両会場合わせて六百二十人が受験、うち六百十二人が合格し、晴れて仏事コーディネーターの資格を取得した。

合格者には、仏事コーディネーター資格審査協会から「認定証」と「登録証（IDカード）」が本人に郵送された。

東京、大阪会場とも試験に臨む受験者の表情は、需要の退潮傾向など業界の現状を考えると、誰もが真剣かつ真摯だった。

仏壇仏具業界史を画する仏事コーディネーター資格制度は、資格取得者の誕生により、いよいよスタートした。だが、この制度をどう生かし、消費者の信頼獲得、そして業界の「あす」にどうつながっていくのか。仏事コーディネーターの肩に課せられた責務は重い。



会場ぎっしりとなった受験者。緊張が会場全体をつつんだ

今回の第一回試験（受講を含む）には、全国で六百四十二人（東京三百四人、大阪三百三十八人）が受験を申請した。その後辞退（キャンセル）などがあり、最終的には受験者数は六百二十人（東京二百八十九人、大阪三百三十一人）となった。

このうち六百十二人（東京二百八十四人、大阪三百二十八人）が合格した。不合格は八人（東京五人、大阪三人）だった。

一社で何十人と受験したところもあり、資格制度に対する熱意のすごさを見せつけた。試験会場は東京が「都立産業貿易センター台東館」（台東区花川戸）、大阪は「namba PLACE」（大阪市中央区難波）となった。

両会場とも午前十時きっかりに受付が始まり、同十一時からオリエンテーション（試験・講習についての説明）が行われた。

引き続き、昼食を間にはさんで第一講「仏事コーディネーターの使命と心がまえ」、第二講「仏壇仏具業界へのメッセージ」、第三講「検定用テキスト『仏壇仏具ガイドランス』の解説」の講習があり、試験は午後三時二十分から行われ、同四時三十分には終わった。

三つの講習の講師には、東京は第一講・安田松慶氏（全宗協理事長・仏事コーディネーター資格審査協会会長）、第二講・松原泰道師（前南無の会長）、第三講・清水祐孝氏（仏事コーディネーター資格審査協会事務局長）が立った。

大阪は第一講・小堀賢一氏（全宗協事業委員会委員長・仏事コーディネーター資格審査協会副会長）、第二講はヨルン・ボクホベン氏（オランダ総領事館文化部）、第三講・住田

第1講、第2講、第3講の順に講師に立った皆さん

〔東京会場〕



安田松慶氏



松原泰道師



清水祐孝氏

〔大阪会場〕



小堀賢一氏



ヨルン・ボクホベン氏

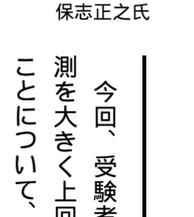


住田孝太郎氏

背景に業界への危機意識
会場責任者・試験官の二氏に聞く



森正氏



保志正之氏

保志正之氏(東京会場)
森 正氏(大阪会場)

今回、受験者が当初の四百人という予測を大きく上回り、六百二十人となったことについて、二氏は次のように話した。

一番の背景は業界への危機感だと思います。

今、業界は商売が厳しくなってきた中で、どなたもがどうやってお客さまと接していったらよいかと悩んでいます。同時に業界の皆さんは消費者の信頼をどう取り戻していくかを、それこそ本気になって考え、検定用テキストを勉強したと思います。そうした危機感がこの受験者数となって表れたと思います。

受験者の皆さんは、本当に真剣かつ真摯で、感動すら覚えました。



試験終了。問題用紙を回収(東京会場)



さあ、いよいよ試験!!。問題が緊張の中で配られる(東京会場)



時間のある限り答案を見直す(東京会場)



すべてが終わって笑顔を見せる受験者も(東京会場)

孝太郎氏(仏事コーディネータ
資格審査協会試験問題委員)
が務めた。
試験問題は、「×式」五十問、
「三択問題」二十五問の七十五
問であった。配点は、「×式」

「三択問題」とも五十点の計百
点満点で、試験問題委員によつ
て厳正に採点された。平均点は
九十二・八点だった。
東京は保志正之氏(全宗協
会員増強委員会委員長)、大阪

は森正氏(全宗協会会員増強委員
会副委員長)が、会場責任者・
試験官の重責を務めた。
試験では、全宗協の安田松
慶理事長らトップ陣も答案用
紙と向き合った。

会場別の平均点

| | 東京 | 大阪 | 全国平均 |
|------|-------|-------|-------|
| 平均点 | 92.2 | 93.2 | 92.8 |
| 最高得点 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 最低得点 | 58.0 | 71.0 | 58.0 |

男女別受験者数

| | 東京 | 大阪 | 全国 |
|----|-----|-----|-----|
| 男性 | 226 | 276 | 502 |
| 女性 | 63 | 55 | 118 |
| 計 | 289 | 331 | 620 |

受験者の年代別

| | 東京 | 大阪 | 計 |
|-----|----|-----|-----|
| 20代 | 21 | 39 | 60 |
| 30代 | 64 | 111 | 175 |
| 40代 | 78 | 103 | 181 |
| 50代 | 92 | 67 | 159 |
| 60代 | 32 | 10 | 42 |
| 70代 | 2 | 1 | 3 |



第2講、ヨルン・ボクホベン氏による講義風景
(大阪会場)



講習開始前の静まりかえった会場内。集まった受験者たちのあいだにも緊張感が走る
(大阪会場)



熱心に聴講する受験者たち(大阪会場)

東京の第一講「仏事コーディネーターの使命と心がまえ」

安田松慶氏、「良きアドバイザーの務めを」と強調

全宗協理長・仏事コーディネーター資格審査協会会長として、東京会場での第一講「仏事コーディネーターの使命と心がまえ」には、安田松慶氏が講師として立った。

安田氏は、仏事コーディネーター発足までの経緯、葬祭と墓石業界にはすでに資格制度があることなどにふれた上で、「仏事コーディネーターに誇りと自信を持つとともに、いつそこの自己啓発につとめ、「消費者の良きアドバイザー」としての役割を果たしていただきたい」と述べ、役割の重要性を強調した。

当初の予測よりはるかに大勢の受験者となったことは、業界の皆さんがいかに真摯に考えているかを表している証だと思えます。資格制度ができるまでには様々に紆余曲折がありました。平成十六年四月に、晴れて「仏事コーディネーター資格審査協会」が

でき、今日を迎えることができました。

靴屋さんの世界には「シューフィッター」という資格制度があり、資格を持った方々は「売らんかな」より、靴がいかに関人の健康と深く結びついていかをお客さまに説明しています。

私はその方たちとお会いして、「これからの時代は、単に高いものを売ろうとだけ考えるのではなく、私たちの業界はお客さまのお役に立つセールスをしなければならぬ」と考え方を変えました。仏事コーディネーターは、シューフィッターと根幹を同じくするものと考えてほしいのです。

仏事コーディネーターについて、資格審査協会では「定義」を設けています。要約し、消費者の皆さんの要望を的確に把握した上で、宗派や地域の慣習に十分配慮し、仏事に関するアドバイスな

ど、消費者の方々の良きアドバイザーとしての能力を認められた人たちです。

仏事コーディネーターは、お客さまよりはるかに商品知識、仏事に関することなどに通じた専門家としてお客さまに接してほしいと思います。

その誇りと自覚を持つていただき、消費者の皆さんの信頼を勝ち取っていただきたいと思えます。それが業界全体のレベルアップ、発展につながるものと考えています。

そのためには、知識をより深めると同時に、自己啓発を忘れず、その能力を十分に活用して、役割を果たしてほしいと願っています。

晴れの合格の皆さん

〔東京〕

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| 今村 豪克 | 今村 順子 | 今村 紘一 | 稲吉三喜男 | 井戸 昭夫 | 一瀬 哲也 | 磯部 千里 | 石渡 義秋 | 伊島 久美 | 石塚 豊 | 石塚 福栄 | 石川 輝久 | 石川 晃典 | 石川 貴光 | 小川 知保 | 小川 好胤 | 奥山 英俊 | 尾崎 茂 | 長田 正博 | 押味 恵子 | 小田 博通 | 小柳不二夫 | 貝瀬三喜男 | 笠原 哲人 | 門井 孝一 | 門井はるみ | | | | | | | | |
| 伊與田 勝 | 岩崎 茂 | 植田 貞典 | 上田 信一 | 上野 純孝 | 上原 利明 | 白田 謙司 | 内田 長祐 | 梅木 信次 | 江崎 俊彦 | 榎本 正宏 | 大井美津雄 | 大川 一 | 大川 博道 | 大久保雅晴 | 大滝ちひろ | 大野 博之 | 岡崎 功 | 岡庭 浩成 | 岡林 弘修 | 岡原喜美子 | 小川 貴光 | 小川 知保 | 小川 好胤 | 奥山 英俊 | 尾崎 茂 | 長田 正博 | 押味 恵子 | 小田 博通 | 小柳不二夫 | 貝瀬三喜男 | 笠原 哲人 | 門井 孝一 | 門井はるみ |
| 加藤 忍 | 加藤 文春 | 金井喜代子 | 金子 悦子 | 金田 吉男 | 苅部 悦子 | 河内 亜貴 | 河内 敏矩 | 川上 良樹 | 川崎 隆史 | 河田 栄治 | 川村 文男 | 河村 光一 | 川本 恭央 | 菅野 親 | 岸本 道子 | 木下 涉 | 木村 茂 | 木村 清二 | 清野 純一 | 金原 大輔 | 葛見 隆史 | 栗原 顕史 | 栗原 秀夫 | 黒澤 好江 | 黒米 正光 | 小池 昌一 | 小出 康成 | 上瀧真二郎 | 小暮千津子 | 小暮 陽子 | 小柴 祐子 | 児玉 憲司 | 小長井和美 |
| 小長井由朗 | 小林 修一 | 小森 隆司 | 小森 敏子 | 斎藤 隆行 | 坂田 晴義 | 流石 重利 | 佐藤 研一 | 佐藤 浩司 | 佐藤 智 | 佐藤 竜也 | 佐藤 法男 | 佐藤 広喜 | 志田 浩 | 柴山 貴代 | 柴山 義幸 | 渋谷 高士 | 島影 宣孝 | 島崎 英男 | 清水澤則子 | 志村 冬美 | 下山 博美 | 庄司トシ子 | 白井 康之 | 白石 弘 | 白鳥 仁夫 | 神 了司 | 進藤 隆司 | 新留 大作 | 神保 隆吉 | 杉田 静治 | 鈴木 明美 | 鈴木 恵美子 | 鈴木 哲也 |
| 鈴木 英明 | 鈴木 博 | 須戸 勝信 | 須藤 幸夫 | 関 達夫 | 関 雄一 | 関矢千恵子 | 先崎 徳弥 | 平 達也 | 高木寿美子 | 高桑 元之 | 高田 昭彦 | 高田 栄助 | 高田 ソメ | 高田 信行 | 高橋 秀二 | 高橋 昇 | 高橋美知子 | 滝田 雅敏 | 滝田 祐嗣 | 竹谷 豊治 | 太刀川英矢 | 立花 浩代 | 田中 一成 | 田中 清志 | 田中さかえ | 田辺 正典 | 塚田 明夫 | 柘植 純子 | 柘植 吉一 | 辻 博明 | 土田 和則 | 土田 勝恵 | 土谷 耕児 |
| 坪井 憲治 | 露木 達矢 | 鶴橋彩友理 | 寺岡 光秀 | 寺田 幸雄 | 当真 武 | 藤間 幸恵 | 戸嶋寿一郎 | 外山 廣志 | 長沢 健康 | 中島のりみ | 中島 大喜 | 永田 清 | 中西 孝 | 中野外希雄 | 中村 民男 | 中村 康子 | 西海 応道 | 西畑 昌哉 | 西原 敦 | 西春 晶子 | 西春 貞男 | 新田 義法 | 二瓶 一廣 | 野沢 徹 | 野村佳代子 | 橋本 清治 | 橋本 真一 | 橋本 弘子 | 長谷川吉春 | 島山 圭司 | 八田 幸春 | 馬戸 育夫 | 羽入 金作 |
| 羽入 伸一 | 馬場 晴子 | 早房嘉代子 | 原田 正 | 樋口 毅幸 | 平館 邦夫 | 廣川 勝彦 | 廣川 眞浩 | 深澤扶三江 | 福井 明夫 | 福井 典子 | 藤澤よね子 | 藤下 富夫 | 松山 博貴 | 松野 茂幸 | 銚建 祐治 | 星 明 | 保科 勝 | 星野 清七 | 細井 督博 | 細越加司子 | 堀田 正晴 | 堀内 能光 | 本多 三恵子 | 本多 良一 | 本間 雪夫 | 本間 英児 | 前田 興平 | 前田 憲一 | 前田 孝平 | 前田 完平 | 前田 就平 | 前田 剛平 | 前田 龍幸 |
| 前田 平俊 | 前田 平成 | 前田 平久 | 前田 洋江 | 前田 平八 | 前田 真紀 | 前田美津子 | 前田 陽子 | 前田 佳栄 | 牧田婦佐江 | 松井 靖浩 | 松尾 政光 | 松川光伯平 | 松野 聖史 | 松野 智幸 | 松本 信行 | 丸山 秀一 | 丸山 誠一 | 水島 弘 | 溝内 敏明 | 御堂島隆之 | 望月 寿枝 | 物井 剛 | 森 弘人 | 矢崎 俊二 | 安藤 松慶 | 築田 隆 | 山内 明子 | 山田 哲也 | 山田 宗宏 | 山田 俊夫 | 横山 正彦 | 吉岡 昭仁 | 吉岡 英明 |
| 吉田 拓也 | 吉田 竹史 | 吉田 昌志 | 吉田 實 | 吉原 孝之 | 吉丸 英将 | 力石 政行 | 和田 勝隆 | 和田 精貞 | 渡辺 達哉 | 渡辺 登 | 渡部 久 | 綿貫 光枝 | 赤岡歌治子 | 明石 周三 | 足立 英明 | 足立 優吾 | 綾野 隆之 | 荒木 彰浩 | 栗倉 正文 | 安藤 数哉 | 井口 武和 | 生口 則彦 | 池口 弘満 | 池田 耕一 | 池田 典明 | 石川 浩 | 市川 智裕 | 市川 雅夫 | 市川 豊 | 市川 豊 | 市川 豊 | 市川 豊 | |

〔大阪〕

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 兼松 利昌 | 兼松 隆紀 | 桂 利彦 | 勝矢 雅章 | 笠原 雅喜 | 景森 秀昭 | 柿花 宏明 | 鷺海 武史 | 奥野 博純 | 奥田 圭子 | 小川 奉紀 | 岡本 卓士 | 岡本 和徳 | 岡本 靖之 | 岡林 秀和 | 岡田 尚貴 | 岡田 幹太郎 | 大部 正憲 | 大畑 純一 | 大津 欣悟 | 太田 泰輔 | 大城 律子 | 大澤 学 | 江見 和哉 | 江畑 兼吾 | 馬屋原 尚 | 馬屋原あかり | 岩佐 武彦 | 岩尾 隆子 | 今山 秀人 | 今村 尊利 | 伊藤 匠 | 伊藤 進 | 伊藤 慎悟 | 伊藤 和明 | | |
| 兼松 洋子 | 鎌谷 旬 | 紙谷 光輝 | 加茂 裕人 | 川合 達也 | 川勝 啓史 | 川喜田 彰 | 川澄 一範 | 川瀬 弘亨 | 河村 一弘 | 神田 一尚 | 神田 成徳 | 岸本 光史 | 岸本 耕三 | 岸本 哲 | 岸本千亜紀 | 岸本 知世 | 北川 一巳 | 北川 久代 | 北原 良一 | 北原 賢治 | 木原 則子 | 木土 則子 | 木原 賢治 | 木股 基継 | 木村 素美 | 木村 嘉孝 | 木本 隆久 | 木本 結 | 楠 啓利 | 國岡 惠理 | 國岡 和男 | 國平 隆士 | 久保田裕美 | 熊澤 哲也 | 倉橋 美奈 | 黒澤 浩子 |
| 桑村 道子 | 下司 芳彦 | 小池 隆正 | 高口ツヤ子 | 河内 重紀 | 児玉 武司 | 後藤 明子 | 小林 一也 | 小林 信也 | 小林 千洋 | 小林 正俊 | 小針 宗則 | 小室健次郎 | 小山 正則 | 小山田徳男 | 近藤 章靖 | 近藤 隆仁 | 近藤 剛 | 近藤 広行 | 近藤 裕香 | 堺 裕子 | 坂田 正美 | 坂田 健作 | 佐々木政彦 | 佐竹 健作 | 佐藤 静男 | 佐藤 典和 | 佐野 道男 | 澤 忠知 | 澤崎 栄輝 | 澤崎 英輝 | 三枝 剛央 | 三枝みゆき | 嶋津 克彦 | 嶋津 誠子 | 清水 俊則 | |
| 地道 行男 | 下村 暢作 | 白倉 才勝 | 神木久美子 | 菅 栄一 | 杉浦 伸司 | 杉山 由行 | 鈴木 紹允 | 鈴木 淳 | 関マチ子 | 関沢 克弘 | 関谷 光洋 | 妹尾 一賢 | 曾谷 辰徳 | 大休 宗憲 | 大工谷公秀 | 平 真治 | 高岡 明広 | 高木 孝佳 | 高木 泰彦 | 高木 秀晃 | 高沢 巧 | 高柳 雅弘 | 高柳 正志 | 高山 正 | 高山 恵子 | 滝本 繁 | 滝本 真 | 竹内 昭人 | 竹谷 立丸 | 武部 匡志 | 立花 達典 | 田戸 孝雄 | 田中 克昭 | 田中 克彦 | | |
| 田中 隆之 | 田中 恒光 | 田中 敏子 | 田中 裕子 | 田中 良幸 | 谷澤 宏之 | 谷原 洋一 | 田淵 哲也 | 丹波 健一 | 千葉善史朗 | 塚本 高弘 | 塚本 弘喜 | 柘本 宏 | 辻 節子 | 辻井 公祐 | 土屋 智子 | 堤 一夫 | 恒川 浩之 | 常藤誠吾朗 | 寺川 巧治 | 徳谷 淑子 | 徳永 哲士 | 富田 孝生 | 富野 進 | 鳥居 義信 | 鳥口 勝儀 | 頓名公三郎 | 頓名 新七 | 頓名 弥吉 | 内藤 順子 | 永井千恵子 | 中家 賢二 | 長坂 憲樹 | 中島 薫 | 中田 順子 | | |
| 永田 浩三 | 中堂蘭福丸 | 中庭 廣喜 | 中根 勝幸 | 中埜 賢一 | 中原 英喜 | 中部 康 | 中村 浩二 | 成宮 輝代 | 成宮 寛明 | 西岡 義晃 | 西口 雅順 | 西谷 登 | 西村 正二 | 西本 昭彦 | 西本 俊亮 | 西本 透 | 西山 民雄 | 野崎 悦子 | 野崎 義隆 | 野中 博己 | 橋本 浩二 | 橋本 晃美 | 橋本 法眞 | 畑中 利啓 | 花尾 文彦 | 埴岡 文則 | 濱島 充幸 | 濱田 明彦 | 林 京二 | 林 富明 | 原 清美 | 坂 新太郎 | 日浦 康友 | 東 久枝 | | |
| 樋口 順一 | 菱田 康平 | 平井 祐介 | 平井 洋一 | 平岡 秀明 | 平野 明弘 | 平間美千代 | 蛭川 義次 | 廣岡 靖之 | 廣瀨 成明 | 深谷 充 | 福島 雄次 | 藤井 智康 | 藤岡 正人 | 藤田 孝夫 | 藤田 光徳 | 藤田みゆき | 藤村 和子 | 藤本 達也 | 藤原 浩司 | 藤原 基 | 古屋鋪充繁 | 別本 浩一 | 保志 英俊 | 星野 美樹 | 星野 幸博 | 細川千比呂 | 堀田みはる | 前田 絵美 | 前野 敏男 | 増田 達也 | 増田 真理 | 松浦 啓太 | 松尾 淳也 | 松川 清宏 | | |
| 松坂 淳一 | 松下 幸市 | 松田 章憲 | 松田 寛詞 | 松永富久夫 | 松波 藤男 | 松久 浩士 | 松村 直樹 | 松本 恵 | 真鍋 好広 | 真弓 清 | 三加 邦人 | 三木 三雄 | 三代 利行 | 水口 幸雄 | 南 寛 | 峰田 冬樹 | 三村 和雄 | 三村 邦雄 | 三村 敏彦 | 三村 博昭 | 三村 政昭 | 宮川 富子 | 宮川 知子 | 宮川 尚子 | 宮岸 隆 | 宮崎 導徳 | 宮田 剛兒 | 三好 浩司 | 三好 弥生 | 宗吉 重仁 | 村田 安男 | 明城 道和 | 茂村 信治 | 森山るり子 | | |
| 薬師神 裕 | 柳田 健次 | 矢野 徹郎 | 藪木 静男 | 山川 八朗 | 山口康多郎 | 山口 敏雄 | 山田 義郎 | 山田 和義 | 山中 誠人 | 山根 良明 | 山之内幸三 | 山之内 猛 | 山之内 誠 | 山本 和史 | 山本 隆史 | 山本 将文 | 山本 浩章 | 余郷 良重 | 横関 文人 | 吉川 和毅 | 吉田 友憲 | 吉田 英樹 | 吉田 喜重 | 吉本 康彦 | 米坂 和人 | 米坂 智人 | 米津 昭人 | 依岡 ゆみ | 和田 賢一 | | | | | | | |

■平成16年度の地区協議会役員と委員会委員

| 地区 | 地区協会長 | 副会長 | 総務委員 | 広報委員 | 事業委員 | 会員増強委員 | 正常化 |
|------------|-------|---------------|-----------------------|----------------|-----------------------|------------------------|-----------------------|
| 北海道 東北 | 保志正之 | 奥山英俊 浅野敏夫 | 佐藤仁一郎 兒玉高周 | 浅野敏夫 八田守立 | 佐藤晶洋 藤村義郎 | ◎保志正之 奥山英俊 ○小野隆市 | 成島秀夫 升谷昇平 |
| 関東 | 内田長祐 | 坂田晴義 前田平成 | ◎西春貞男 滝田雅敏 辻 幸明 | 岩崎 茂 山田宗宏 | 青山武史 今村紘一 | 小森健司 神取彦一郎 | 河内敏矩 福井明夫 |
| 北信越 | 廣川勝彦 | 池田典明 笠原他喜雄 | ○笠原他喜雄 藤田整司 | 本俣 実 澤崎栄輝 | ○池田典明 木本隆久 | 大江久雄 山口敏雄 | 高沢秀晃 吉田竹也 |
| 東海 | 井上芳徳 | 吉田政弘 三枝紀元 | 近藤和夫 澤 忠知 | 濱島賢祐 ○小長井由朗 | 井上芳徳 長坂忠明 | 吉田政弘 神野稔浩 | ○三枝紀元 菱田孝行 |
| 京 滋 | 小堀賢一 | 宮川孝昭 橋本晃一 | 安藤宇助 今井 隆 | 大久保武 加茂定治 | ◎小堀賢一 玉垣康博 刑部正巳 | 神戸良司 岸本光史 | 吉田治弘 三浦庸弘 |
| 阪 奈 兵 和 | 武部讓治 | 佐倉 弘 濱田博邦 | 片川昭夫 滝本 正 | 中造和夫 宮岸 隆 | 黒沢公雄 萬谷正夫 | 宮田伊佐夫 山中誠人 | ◎武部讓治 古川士郎 千秋明正 |
| 中国 | 高山 正 | 三村博昭 田戸孝雄 | 田戸孝雄 本井宗明 | ◎高山 正 藤田孝夫 | 三村博昭 藤田富雄 | 今浦公博 荒木文之助 | 三村邦雄 熊本進一 |
| 四国 | 藤本晃史 | 上林良得 今山秀人 | 岩佐武彦 高井一憲 | 高井一憲 森 正 | 上林良得 吉本佳正 | ○森 正 金倉光治 | 今山秀人 藤本晃史 |
| 九州 | 中堂蘭福丸 | 吉川礼蔵 池田良典 | 太田 篤 城後好孝 | 花田宗憲 菅 和治 | 吉川礼蔵 塚本弘喜 | 白川十郎 池田良典 | 井ノ口敬三 上田輝子 |

(注) ◎印は委員長、○印は副委員長

■平成16年度新規加入の正会員の皆さん

| | | |
|---------------------|--------------|--------|
| 愛知県日進市米野木町東田面123-1 | 南三千堂 | 米坂三千男 |
| 川崎市中原区小杉町1-528 | 株永松堂 | 児玉憲司 |
| 福岡県山門郡瀬高町長田874-2 | 南松尾仏具本店 | 松尾淳也 |
| 福島県いわき市小名浜字定西69 | 仏壇仏具のお店 本多 | 本多良一 |
| 愛媛県宇和島市愛宕町2-2-23 | 南立花仏壇店 | 立花孝文 |
| 大阪府茨木市南春日丘1-1-24 | すみれ堂 | 馬屋原あかり |
| 岡山県津山市小田中1313-13 | 株田測仏心堂 | 田測浩巳 |
| 静岡市焼津市坂本174 | 株お佛壇のやまき | 浅野秀浩 |
| 東京都墨田区堤通2-1-2 | 代色彩 | 小川好胤 |
| 奈良県大和高田市本郷町9-26 | 蓮華堂 | 辻井公祐 |
| 秋田県雄勝郡稲川町川連字清水川94-5 | 南メモリアルプラザたけや | 竹谷豊治 |
| 秋田県雄勝郡稲川町川連字高捨下7 | 株うえさか | 上坂憲一郎 |

災害でお見舞い

平成16年は災害の多い年だった。中でも新潟中越地震と台風23号は、多大な被害をもたらし、人々を悲しみのどん底に突き落とした。

全宗協は苦しみにあえぐ人たちに対し、以下のようなお見舞いを差し上げた。

※ ※ ※

新潟中越地震並びに台風23号等による被災地の皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。

一日も早く平穏な日々に戻りますことを心からご祈念申し上げます。

全日本宗教用具協同組合

理事長 安田松慶

役員一同



平成十七年度の第十八回通常総会

五月十七、十八日に東京のホテル日航東京で「全員で参加する組合活動」をテーマにと関東地区協

平成十七年度の第十八回通常総会は五月十七（火）と十八日（水）、東京都港区台場の「ホテル日航東京」で開催される。

初日の十七日は通常総会、役員会、講演等が行われ、翌十八日は東京観光を中心としたオプショナルツアー、保土ヶ谷カントリークラブでの懇親ゴルフの二つが予定されている。

今総会は役員改選などの大きな議題はないが、第一回の「仏事コーディネート試験」が終わった後であり、そしてまた平成十七年秋に予定されている第二回試験を前にしての通常総会だけに、意義ある総会となりそうだ。

通常総会の準備は関東地区協議会の手が進められている。関東地区協の内田長祐会長（川口市の株式会社大黒堂代表取締役）は、次のように話している。「五月の第十八回通常総会は「全員で参加する組合活動」をテーマに取り組

みたいと考えています。一部の人たちだけが参加していると受け取られがちであっては、組合活動は成り立ちません。今、一番大事なことは、全員で組合を盛り上げていこうという熱意です。全員参加をテーマに、気軽に誰もが足を向けることができる総会にできたら、と思っています」

春の全国研修会は通常総会を前に二月二十一日（月）、東京都港区海岸の「アジュール竹芝」で開かれる。

全国研修会では、（財）美術院常務理事の小野寺久幸氏の「国宝文化財修復」についての講演がある。この全国研修会と合わせ、役員会と五つの委員会（会員増強・広報・事業・正常化・総務）も開かれることになっている。



ホテル日航東京



レインボーブリッジや東京タワーも望める

九月九日と十月十九日に役員会

を承認した。

十月十九日、大阪の「メルパルク大阪」で役員会と秋

東京の「ホテル日航東京」で第十八回通常総会とオプショナルツアー等。

各委員会報告（広報、会員増強委員会等）、全宗協への二名の新規加入を承認。また七

平成十六年後半の役員会は九月九日（京都の「きのぶ」、出席理事三十四名）と十月十九日（メルパルク大阪、出席理事三十一名）に開かれた。

九月九日役員会

新しい広報委員会委員長に

高山正氏

の全国研修会（全国研修会では相愛女子短大講師の植田啓司氏が「生活と宗教用具」と題して講演）十一月十六日、東京と大阪で第一回仏事コーディネート試験実施 平成十七年二月二十一日、東京の「アジュール竹芝」で役員会と

このほか、全宗協の新しい広報委員会委員長に高山正氏を選出するなどの各委員会委員を別掲の通り選任、また全宗協への新規加入を別掲の通り承認した。

所等の誤りを正しく修正した。役員会終了後に秋の全国研修会が開かれ、相愛女子短大講師の植田啓司氏が「生活と宗教用具」の演題で一時間余、

春の全国研修会（講演）平成十七年五月十七、十八日、

十月十九日役員会

秋の全国研修会で講演する植田啓司氏

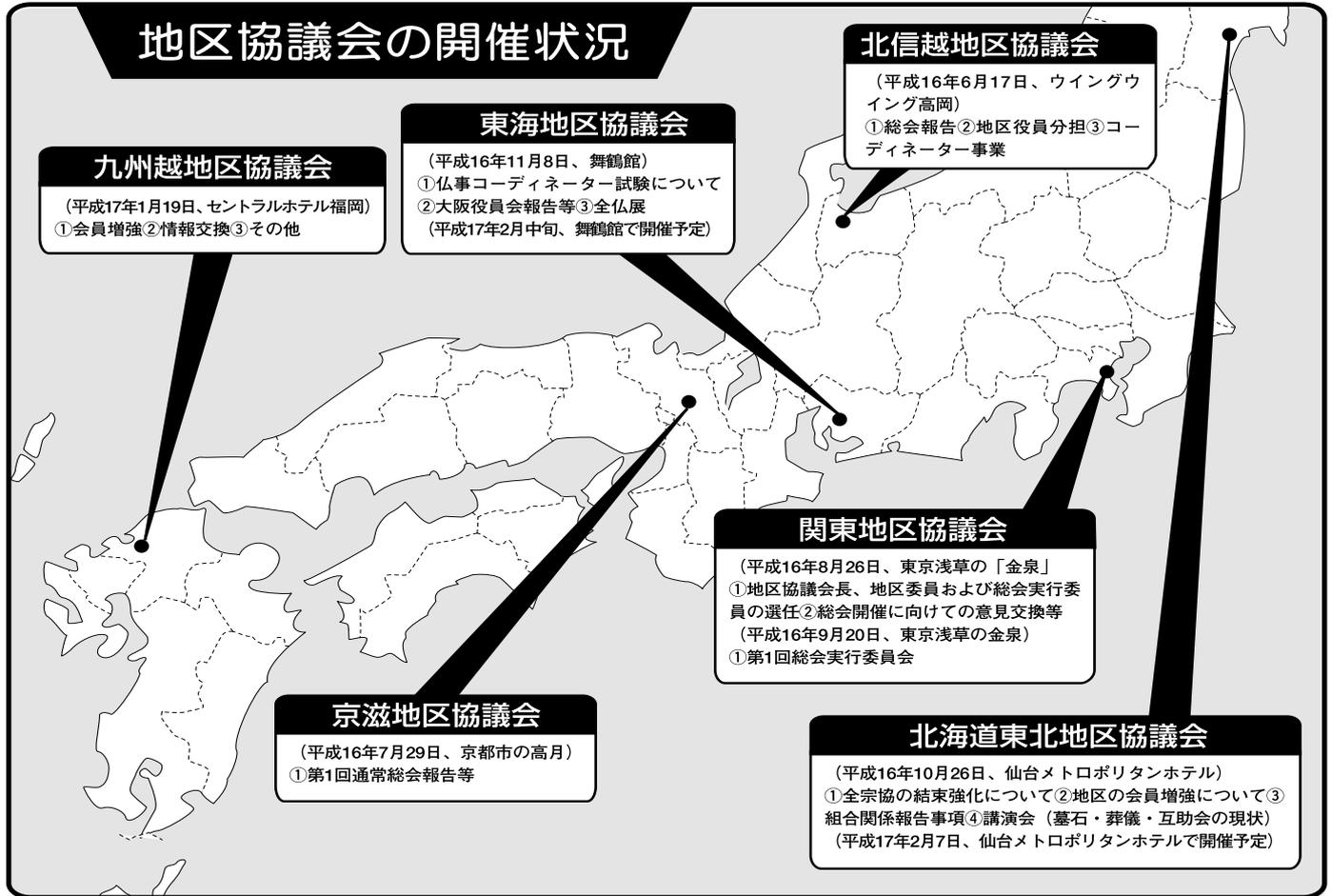
今後の事業予定として以下

成十七年五月十七、十八日、

修会

話した。

地区協議会の開催状況



| 訃報 | | | | | |
|--------|------------|------|---------|------|--------|
| 地区名 | 組員 | | ご逝去 | | 逝去日 |
| 九州地区 | 高口佛具店 | 高口 登 | 奥様京子様 | 75歳 | 4月28日 |
| 阪奈兵和地区 | (有)本家宮坂佛壇店 | 宮坂幸伸 | ご本人幸伸様 | 66歳 | 6月10日 |
| 中国地区 | (株)京 屋 | 田戸孝雄 | ご尊父良三様 | 91歳 | 6月29日 |
| 九州地区 | (有)白川仏具店 | 白川十郎 | ご母堂ハル様 | 82歳 | 9月8日 |
| 九州地区 | (株)野上神仏具店 | 野上英幸 | ご祖母節代様 | 76歳 | 10月9日 |
| 中国地区 | (株)横田安楽堂 | 横田正登 | ご祖母ミサ子様 | 106歳 | 10月18日 |

編集後記

仏壇仏具業界に「仏事コーディネーター」がついに誕生した。仏事コーディネーター資格制度は仏壇仏具業界で初めての制度である。言い換えるならば、この業界にスタンダード(基準)といえるものができたわけで、仏壇仏具業界は確実に「新しい時代」にはいったということができよう。

多くの業界は資格制度を持っている。靴の業界にも昭和六十年代に設けられた「シューフィッター」とい資格制度がある。靴を「売らんかな」よりも、靴がいかにか人の健康と密接に結びついているかを先ずは客に懇切丁寧に説明する。葬祭業界にも「葬祭ディレクター制度」があり、墓石業界も「お墓ディレクター制度」を持っている。

お墓ディレクターは平成十六年二月に第一回の2級試験(1級試験は平成十七年二月の予定)を行ったばかりだが、葬祭ディレクターは平成八年に第一回試験を実施、以来、毎年1級と2級の試験を行ってきており、すっかり定着した感がある。「葬祭ディレクター」の文字が印刷された名刺を、「武器」に、澁刺と働いている葬儀社員に接した仏壇仏具業界人も多いことと思う。

葬祭、お墓に続いて仏壇仏具業界でも資格制度がスタートした。言うならば、供養関係の業界は「三者揃い踏み」の時代に入ったわけだが、東京、大阪とも受験者の表情は真剣かつ真摯だった。長い歴史と磨かれた伝統技術に裏打ちされた世界、それが仏壇仏具業界である。真剣かつ真摯な表情には、単に「プライドに生きる大人の業界」とだけは片づけられないものがあった。

受験者たちの表情を引き締めていたもの、それは何だったのか。業界の岸辺はいま、時代の「荒波」に浸食されている。激しい浸食の音を耳にして、誰もが危機感を感じている。それが最大の理由だろう。仏壇仏具業界史を画するこの仏事コーディネーター資格制度をどう活用し、どう消費者の信頼を引き寄せるか。そして業界の「あす」をどう隆盛あるものにしていくのか。仏事コーディネーターとなった人たちの責務は重い。「合格した!!」と喜んでばかりはおられない。消費者への浸透は「むしろこれから」を忘れないでほしいと思う。